



# 議会だより



## 3月定例会

## 発展する辰野町



城前橋改築工事、新しい企業の建設工事で活気づく城前地区



元気で大きくな〜れ!

第21号

平成18年(2006年)  
5月1日

- 発行/辰野町議会
- 編集/議会広報委員会

総務文教常任委員会活動

p.2

社会福祉常任委員会活動

p.4

経済建設常任委員会活動

p.6

請願・陳情のゆくえ、議員定数条例改正について

p.8

【辰野町議会ホームページ】 <http://www.town.tatsuno.nagano.jp/gikai/~index.htm>



# 62議案 原案どおり可決

三月議会では、18年度予算15件、条例の制定と指定管理者制度の導入に伴う条例の一部改正に関するものが20件、課の設置、職員・特別職の定数・給与に関するものが7件、介護保険・国民健康保険条例の一部改正2件、17年度補正予算10件、議員定数条例の一部改正1件、その他7件、計62議案すべて可決しました。

本会議の審議では、介護保険・国民健康保険条例の一部改正については、それぞれ保険料を値上改正するもので、反対意見もありましたが賛成多数で、他の議案は全員一致で可決しました。

設が指定されました。受託する側もこの制度を十分理解しないまま了承しては、この制度で指定された施設は毎年、管理報告書等を提出しなければならず、各区等では大きな負担となります。

指定管理者制度の導入に伴う条例については、地方自治法が改正されて、町でも、今年9月までに、既存の委託施設は直営か指定管理者制度を導入するか決めなくてはなりません。

このため今議会では、町の福祉施設、公園、各区・耕地管理のコミュニティセンターなど42施設が指定されました。

議会では町に対し負担の軽減を求め、報告の簡略化の条例を追加提出させ可決しました。この制度は、教育や文化面などにはなじまない点もあり、指定については今後も十分検討して指定する必要があります。

## 委員会活動から

- 平成18年度辰野町一般会計予算審査
- 平成18年度辰野町特別会計予算審査
- 条例審査

### 総務文教常任委員会

#### 予算審査

##### 一般会計

歳入全部と歳出のうち、議会費・総務費・消防費・教育費について審査を行いました。

##### 歳入

町税は約4800万円増額を見込んでいます。内容は、個人町民税は、老年者控除の廃止や公的年金所得控除の改定などの税制改正により増額、法人町民税は法人の減少により減額、固定資産税は3年に一度の評価替えにより減額、軽自動車税・たばこ税は増額、都市計画税は評価替えにより減額となっております。

地方譲与税は前年比9550万円の増額、地方交付税は1億3000万円の減額です。国・県支出金は一般財源化などにより約5億6900万円減額です。

##### 歳出

##### 総務費

企画費では職員の自己啓発研修、ワークシヨップ・ファシリテーター講座、評価システムの構築が予定され、行政評価システムでは評価表を試作しているとの説明がされ、効果が期待されます。

##### 条例審査

町営駐車場条例の制定及び使用料条例、町公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

いずれも指定管理者制度導入に対応するための改正であります。内容は、用語の置き換えを行うもので、行政が直接管理する施設は「使用」「使用者」とし、指定管理者が管理する施設は「利用」「利用者」とするものです。

条例改正後も「利用」「利用」の区別がされず残るものがあるので、それらの箇所については、順次訂正・整理していくよう要望しました。加えて、従来の団体等を指定管理者とする施設については、報告書作成等、新たな重荷とならないよう配慮して、お互いに納得した上で協定を締結するよう要望して、全員一致で可決しました。

##### 教育費

図書館費に蔵書検索システム導入が予定されていますが、伊那市の図書館の計画と一緒にできるか検討中であるとの説明がありました。

##### 特別会計

##### 有線放送 特別会計予算

ほたるチャンネルの地上デジタル化の対応については、LCVの方式の決定を待つ取り組むとの説明。委員からは、視聴率の実態調査をし、検討するよう要望して、全員一致で可決しました。

##### 消防費

消火栓の新設工事は4基を予定されていますが、委員より各区からの要望状況についての質問に、要望は19基あるが、消火栓や防火水槽との設置距離を考慮して優先順位をつけて計画している。防火水槽は補助金の関係で1年おきに4基の設置計画であるとの説明。「消防職員の配置基準は達成されているか」との質問に、国の基準では

地域づくり推進事業費は、地域団体の新たな活動や活動増進のため20万円を増やし支援をしていきたいとのことであるが、継続性のある事業となるよう指導することを指摘しました。徴税費では、委員より、パークホテルの入湯税の扱いについて、無料券や回数券の発行、宴会などのホテル利用の際の入湯税の扱いが不透明との指摘があり、適正な処置するよう要望しました。固定資産税は、新築後の増築などで課税漏れが生じてないかとの質問に、そのような不公正が無いよう来年度は調査を進めるとの答弁がありました。住民基本台帳については、委員から、カードの普及を図るため、カードの利用に手数料の割引をしたらどうかとの提案をしました。



樋口区防災隊 机上災害訓練

図書館費に蔵書検索システム導入が予定されていますが、伊那市の図書館の計画と一緒にできるか検討中であるとの説明がありました。学校給食については、国・県の方針を受け、校長、教頭、栄養士、調理員、PTA、民間による構成の検討委員会、給食を今のレベルより落とさないことを前提に、アンケートの計画やいろいろな角度からの検討をしている。委員からは現在の給食の食材費や人件費など

64名であるが、町では30名の対応である。地域防災組織の導入状況の質問には、組織のない地域は官所、小横川、上島、唐木沢であり、本年度立ち上げ予定は上下辰野区との説明でした。自主防災訓練や火災・災害時の消防との連携や指揮系統の確立の必要性を指摘しました。

以上、歳入全部と、歳出のうち、議会費・総務費・消防費・教育費・公債費・予備費について、全員一致で可決しました。



# 社会福祉常任委員会

## 委員会活動から

- 平成18年度一般会計予算審査
- 平成18年度特別会計予算審査
- 条例審査

### 予算審査

#### 一般会計

##### 民生費

18年度予算は、前年当初に比較して3・1%増となっております。

新たに備品購入費で、自動体外除細動器1台を保健福祉課に備え、有事に対応します。

福祉タクシー・バス利用扶助については増額し、交通弱者のみならず、広く有効利用されるよう、民生委員とも協力して進めることを要望しました。

身体障害者等支援事業では、自立支援法の改正により自己負担が5%増となりますが、扶助費でその支援を考慮するよう求めました。

児童手当費については、小学校修了前特例給付が増額となりました。また、児童福祉費は平成18年度より児童扶養手当の支給事務が、県から町に移ることが予測されるため、

新たに予算化されました。子育て支援センター「つどいの広場」については、昨年9月に開所した大きな問題もなく、子育て支援の一助として一層の充実を図るとの説明がありました。



つどいの広場で遊ぶ子どもたち

##### 衛生費

聖地管理費は、霊園の造成工事費が主なものです。町民の要望に対応できるよう、新たに35区画が造成されます。

老人保健事業の各種検診委託料では、今年度から肺がん検診が新たに加わりました。

生活習慣病の予防のための健康教室への参加や、疾病の早期発見のための各種検診の受診を町民に広報等と呼びかけ、なお一層の予防医療に努めるよう要望しました。

一般会計予算の内、民生費、衛生費は全員一致で可決しました。

#### 特別会計

##### 国民健康保険特別会計予算

老人医療対象年齢の引き上げや、長引く不況による社会保険から国民健康保険への加入者の増加、医療の高度化による医療費の高額化、介護納付金の大幅な伸びなどにより、国保会計が悪化しています。歳入では、国保税が税率改定により16・8%増を見込まれますが、保険給付費(療養費)が1億円以上も増えると予想されます。

委員から「保険税の値上げより、生活習慣病等

による医療費の増加を抑えるための健康づくりや早期検診・治療など、保健福祉課との連携行政サービスが求められる」との反対意見がありました。適正医療の指導や税率改定により滞納者が増えない手立てを尽くすよう要望し、賛成多数で可決しました。

##### 第一診療所及び川島診療所特別会計予算

年々利用者が減少していますが、高齢化の進む中、地域医療の確保と、健全な運営に努力するよう要望し、全員一致で可決しました。

##### 町立辰野総合病院事業会計予算

病院運営は産婦人科医師、内科医師の減と診療報酬改定により医療収益を2・48%減と見込み、たいへん厳しいものとなっております。

病院に対する苦情については、十二分に調査・改善に努力し、病棟対策では、6床室を4床室にして療養環境の改善を図り、経費の縮減と引き続き医師確保に努め、よりよい医療サービスを図っていくとの説明がありました。

建設改良費について、建設場所が決まらないうちに、実施設計・監理委託料と工事費を計上したことと多くの質問や意見が出されました。また、建設場所は町民の意向を考慮して決定し、病院の内容・規模、運営計画、財政計画の情報を町民に公開し、十分に審議して進めるよう要望し、全員一致で可決しました。

#### 介護老人保健

#### 施設特別会計

#### 予算

「介護保険制度の見直しが行われて、食住費の負担が増え、福寿苑の利用者はたいへん厳しい状況が予想されるが」との



餅つきを楽しむ福寿苑での行事

#### 介護保険特別

#### 会計予算

主なものは、歳入では、国庫補助金の調整交付金、支払基金交付金で4千万円の減、介護保険料の見

質問に、利用者の自立した生活や家庭復帰を支援している。また、施設は明るい家庭的な雰囲気にして、地域や家庭との結びつきを深め、施設に対する信頼を高めると説明しています。

全員一致で可決しました。

直し、地域事業交付金、一般会計繰入金、基金繰入金で6300万円の増、総額3%の増額予算となっております。

歳出では、制度改正による介護予防事業実施のための総務費、高額介護サービス費、介護予防費、包括的支援事業費などで4600万円の増となっております。

制度改正により、地域の高齢者に対応する機関として「地域包括支援センター」が設置され、介護予防を中心としたサービスをを行います。

審査判定についての質問では、一次・二次判定は広域全体の審査会で行うため、より公平に行われているとの説明でした。

今後は介護保険事業全体を各市町村単独で行うより、広域行政で行う事も視野に入れて進めることを要望しました。

保険料値上げに反対意見もありましたが、賛成多数で可決しました。

### 条例審査

#### 辰野町介護保険条例の一部を改正する条例について

介護保険料は、3年ごとに見直しするもので、今回は2回目です。

介護保険給付区分の改正と制度の内容が「地域支援事業」や「介護予防」を中心に置いたサービスを改正されたことを含めた保険料改正です。

委員より、保険料の基準額と低所得者への負担軽減措置についての質問に、保険料の基準額は、基金の繰入れによって値上げ幅を押さえ、現行より250円アップの3010円とし、所得区分を増やし、低所得者は所得に応じて基準額の50%及び75%に抑えているとの説明でした。

委員会の意見として、今後大幅な保険料の値上げをしないよう配慮し、4月から新設される地域包括支援センターによる

#### 辰野町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

平成8年以来10年ぶりに19%増の税率改正であります。

「低所得者に対する配慮がなく、負担増が続いている。まだ基金も残っているこの時期に税率を上げるべきではない」との反対意見がありました。

国保会計は、加入者の医療費によって大きく左右されるので、今後は早期医療と適正医療を進め、また、税率改正により滞納者が増加しないよう、取り組みに努力すること、を要望し、賛成多数で可決しました。



# 経済建設常任委員会

## 委員会活動から

- 平成18年度一般会計予算審査
- 平成18年度特別会計予算審査
- 現場視察活動

### 予算審査

#### 一般会計

##### 衛生費の内、水道費

上水道事業会計等への起債償還負担金及び繰出金が主なものです。一般会計予算で、上野簡易水道の配水管改良工事を計上していますが、特別会計で実施しない理由は、一般会計で実施すれば消費税が課税されなためであるとの説明でした。

##### 農林水産費

主な事業は、大日尻地区の「元気な地域づくり支援事業」、小野地区の「地籍調査事業」、有害鳥獣の捕獲檻への助成などを行っている「町有害鳥獣駆除対策協議会」への補助金等であります。9月議会でも要望し、監査委員の指摘事項でもある荒廃農地対策については、農業委員が受け持

ち地区を中心に、荒廃地を地図に落とし実態把握を行っています。今後の大きな課題であり、対策の具体化をめざして一層精力的に取り組みよう要望しました。

地産地消については、今後さらに事業を推進、拡大していくためには、利用者において貯蔵してもらうこと、ロットを増やすこと、規格を揃えること等の課題が明らかとなっており、より効果的な対応を要望しました。

19年度から始まる新たな「経営所得安定対策」への取り組みについて議論が集中し、今年度はその準備の年となりますが、国の補助基準を満たすための集落営農組織は、素案として町営農センターが示している町内5ブロック案を現時点では委員会として了承しましたが、農業委員の意見や実態を十分把握して、取り組むよう要望しました。地籍調査事業における

図根点(測量基準点)の保守については、破損した場合、原則として原因者負担で復旧し、町が認証手続きを行っている状況が、図根点全体の状況について実態を把握しきれいていません。

今後、実態の把握を行い、破損された図根点については急いで復旧するとともに、新しい測量技術体系に対応した電子基準点などの設置について検討するよう要望しました。

#### 商工費

新規事業では、ほたる童謡公園のトイレの改修と下水道接続、町営バス川島線のバスの更新、商工業誘致及び振興補助金の増額などが主なものです。国道361号線「権兵衛トンネル」の開通に伴う辰野町への影響について議論があり、特に、観光



開通した権兵衛トンネル

### 現地視察活動

#### 4箇所の現地視察を行いました。

##### 圃場整備事業(万五郎地区)

現地の確認。

##### 北大出大日尻地区水路改修工事

国庫補助「元気な地域づくり交付金事業」による水路改修工事です。3箇年計画で全長44.2m、本年度は104.4mを施工し、雨期にも氾濫しない水路に整備されます。

##### 城前橋改築事業

釜口水門よりの600t放流に対応した橋梁架替事業で、現在、仮橋の架設工事が行われています。多少の不便は生じますが、5年後の平成21年度完成をめざして順調に進んでいます。総工費8億400



越道団地 現場視察状況

#### 平出越道団地 建て替え工事

事業計画は、平成18年度は敷地・地盤測量、基本設計、平成19年度は埋蔵文化財調査と旧住宅24戸の取壊し撤去、平成20年度は実施設計、建設工事となっています。近い将来には、同場所に保育園の建て替えも予定され、学校、商店、公園も近く、若い人達に期待される場所となります。

### 土木費

新規事業は、中島団地跡地の造成、平出越道団地改築のための測量設計委託、町営住宅整備工事、城前橋改築工事が主なものです。

工事の安全対策については、万全の取組みを要望しました。

法定外公共物(いわゆる赤線、青線)の払い下げ手続きについて広報する必要があるとの指摘がされ、必要に応じて広報していくことを要望しました。

以上一般会計予算については、全員一致で可決となりました。

#### 特別会計予算

##### 上水道特別会計

上水道事業は、水需要が減少しているものの、昨年度は水道料金の引上げにより堅調な経営となつています。新規事業は、新たな水源確保と樋

##### 公共下水道

#### 特別会計

##### 特定環境保全

##### 公共下水道

#### 特別会計

公共下水道、特定環境保全公共下水道とも工事が一段落しました。辰野駅前地区の計画調査と、終末処理場の増設

口区矢沢地籍への給水のための調査です。

##### 簡易水道特別

#### 会計

##### 小野簡易水道

#### 特別会計

ともに、維持管理が主な事業です。いずれも、施設の老朽化と維持管理の大変さが課題となっております。さらに、最近川島地区などで水不足が問題となっており、今後の長期的な維持管理と運営方針について検討するよう要望し、全員一致で可決となりました。

#### 農業集落排水処理施設特別会計

下横川、沢底、辰野北部、辰野北部西、上横川の5箇所の処理施設の維持管理が主な事業です。水洗化率が86%となり

ましたが、引き続き宅内接続の普及が望まれます。また、処理施設の収支状況は地区により差があるものの、おのの厳しいので、なお一層の合理化を要望し、全員一致で可決しました。

# 請願・陳情のゆくえ

今議会には、請願1件、陳情3件が提出されました。

## 請願

出資法の上限金利の引き下げ等「出資の受け入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める請願

法第1条の制限金利まで引き下げること。

二、貸金業規正法第43条のいわゆる「みなし弁済」規定を撤廃すること。

三、出資法における、日賦貸金業者及び電話担保金融に対する特例金利を廃止すること。

審査の中では、高金利・多重債務による破産や自殺などの社会問題の詳細な実態が明らかにされ、いわゆるグレーゾーンの金利については法律の規制が必要であるとの認識に達しました。  
全員一致で採択と決し、国に意見書を提出することとしました。

## 意見書

一、出資法第5条の上  
限金利を、利息制限

## 陳情

「公的サービスの安易な民間開放は行わず、充実を求める意見書」提出に関する陳情

公共サービスの民間開放、いわゆる「市場化テスト導入」は国民への公共サービスの向上に向けての取り組みであり、国民

の理解と協力が望まれ、監視が必要であるとして、採決では、採択1、不採択3、継続1により、不採択と決しました。

国保税について慎重審議を求める陳情

一般会計からの繰入れや医療費の抑制をすすめ、国保税を引き上げないこと、資格証明書や短期保険証の交付に配慮することを求める陳情です。

国保税条例改正の審査で十分審議をつくしたとし、賛成意見もありましたが、反対多数により、不採択としました。

圃場整備事業の早期完工を求める陳情

万五郎地区圃場整備事業の工事は完了しているので、換地処分登記や清算業務を進めて早期完工を求める陳情です。  
陳情書に不適切な部分がありますが、土地に関

## 議員定数は14人―次期選挙から―

する権利関係は放置すればするほど処理が困難となり、地権者全員が不利益を受けるといふことから、担当課においては、換地処分登記や清算事務が一刻も早く完了するよう、関係者と協議を重ね、必要な手続きを進めるなど具体的に対応するよう要望し、全員一致で、趣旨採択と決しました。

議会では、「議会活性化

必要があります。

に関する調査研究委員会」で、議員定数削減の検討を進め、今議会に議員発議による「辰野町議会の議員の定数を定める条例の一部改正する条例」を提出し、可決しました。これにより、次の選挙から、議員定数は14人となります。

そして、自立したまち

現在の議会は、総務文教、社会福祉、経済建設の3常任委員会で運営されていますが、定数14人になることから、2常任委員会体制や特別委員会も考慮して検討しています。また、本年度から町体制が9課から6課への編成替えに伴い、常任委員会の担当部局割りも行う